

大腸内視鏡検査説明

さっぽろ白石内科消化器クリニック

鎮静剤について

- 検査が楽に受けられるように希望により鎮静剤を使用できます。
- 鎮静剤を使用する場合は検査中の呼吸状態を観察するため指先に機械を付けます。マニキュアをしている方は指 1 本はすしてください。
- つけ爪の方は機械が反応せず鎮静剤を使用できないことがあります。事前診察に入りつけ爪の状態を確認することをお勧めします。
- 足の爪でも呼吸状態は観察できることがあります。
- 鎮静剤を使用した場合、基本的に当日はお車、自転車の運転はできません。自己責任でお願いします。

検査2～3日前

- 下記の繊維の多い食品、消化に悪い食品は避けてください。
きのこ類、種のある果物（イチゴ、キウイ、スイカなど）、海藻類（昆布、わかめ、ひじきなど）、繊維の多い野菜（かぼちゃ、ほうれん草、セロリ、とうもろこしなど）、ピーナッツ、こんにゃく、ごまなど

検査前日

- 夕食はできるだけ消化の良いものを 20 時まで済ませてください。それ以降は検査終了まで絶食です。水分は摂ってもかまいません。液体のみのジュースも OK です。
- 事前診察をお済ませの方は、お渡ししたセンノシドやピコスルファートナトリウムを 20 時にお飲みください。

検査当日

- 朝食はとらないでください。水、お茶は飲んでかまいません。
- 朝の薬は起床後、服用してかまいません。
- 糖尿病薬を服用している方やインスリン注射を行っている方は検査終了まで中止してください。
- 検査着に着替えますので更衣しやすい服装でおこし下さい。
- 検査前に眼鏡、時計などの貴金属類ははずしていただきます。
- 検査前に感染症と血小板数の検査をします。感染症検査は医療者に血液曝露による感染があった場合に必要な情報で、血小板数検査は組織採取の前には出血傾向がないことを確認するために必要な検査です。ご了承下さい。

検査方法

- 検査前に大腸の動きをおさえるため鎮痙薬（ブスコパン・グルカゴン）を静脈注射または筋肉注射します。

- 検査中に病変が見つかった場合には、病変部の組織を採取（生検）し病理組織検査を提出します。

ポリープの切除について

- 検査中にポリープが見つかった場合、ポリープを切除することも可能です。
- ポリープの大きさや形状によっては切除により出血することや腸に穴が開くことがあります。危険を伴います。当院での日帰り治療に対して危険性が高いと担当医師が判断した場合は処置いたしません。後日他院での入院治療となります。
- ポリープを切除した場合、出血の可能性があるため1週間程度は激しい運動や過度なアルコール摂取は控えていただきます。血行促進による出血を防ぐためです。切除日の夜は絶対に飲酒できません。

検査後

- 鎮静剤を使用された方は、回復室で15分ほど休んでいただいた後、診察室で検査結果を説明いたします。
- 組織検査の結果は1週～10日後の説明となります。オンライン診療での説明も可能です。

2024.11 改